

香美町その他施設（公衆便所）個別施設計画

平成 30 年 3 月

香美町

（観光商工課・企画課・村岡地域局・小代地域局・
生涯学習課）

目 次

1	基本事項	
	(1) 計画の目的と位置づけ	1
	(2) 計画期間	1
	(3) 対象施設	1
2	施設の現況及び将来の見通し	
	(1) 保有状況	2
	(2) 点検・診断の実施状況	2
	(3) 管理運営の状況	3
	(4) 利用状況	4
	(5) 保全・更新費用の見通し	5
	(6) 管理運営費等の見通し	5
3	再編に関する事項	
	(1) 再編の方向性の検討方法	6
	(2) 再編スケジュール	9
4	保全・更新等に関する事項	
	(1) 保全・更新等の検討方法	10
	(2) 保全・更新等スケジュール	11
5	管理運営に関する事項	
	(1) 管理運営の見直しの検討方法	12
	(2) 管理運営の見直しスケジュール	13
6	公共施設等マネジメントによる効果	
	(1) 保有量	14
	(2) 保全・更新等費用	14
	(3) 管理運営費等	14
7	フォローアップの実施方針	
	(1) フォローアップの実施方針	15

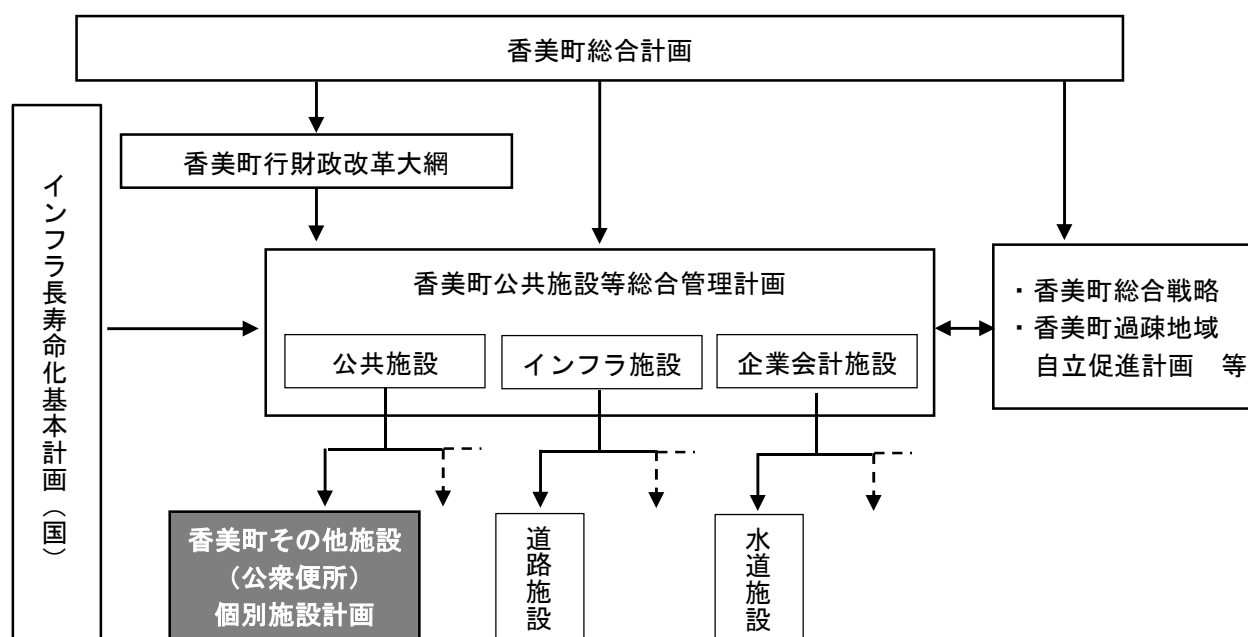
※本計画書中に記載している表の数値は、四捨五入の関係で数値の合計が合わない場合があります。

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、平成 29 年 3 月に策定した「香美町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取組）を推進していくためのその他施設（公衆便所）に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけます。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、2017 年度（平成 29 年度）から 2026 年度（平成 38 年度）までの 10 年間とします。総合管理計画の計画期間である 2017 年度（平成 29 年度）から 2046 年度（平成 58 年度）までの 30 年間で 3 期に分け、本計画はその第 1 期分とします。

なお、原則として計画期間の中間となる 5 年目（2021 年度（平成 33 年度））に見直しを行うこととしますが、本町を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における施設分類のその他施設（公衆便所）とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

平成27年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。(総合管理計画との比較を行うため、保有状況については、総合管理計画と同じ平成27年度末時点としています。)

分類	施設名	整備年度	延床面積(㎡)	取得価額(千円)	減価償却累計額(千円)	資産減価償却率(%)
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	S38	7	726	726	100.0
	三川観光公衆便所	H21	15	5,361	1,300	24.2
	安木観光公衆便所2号棟	H11	30	13,424	13,424	100.0
	訓谷観光公衆便所1号棟	H8	47	19,467	12,263	63.0
	柴山駅前トイレ	H26	11	6,241	248	4.0
	浦上観光公衆便所	H12	33	19,215	7,782	40.5
	柴山スポーツパーク公衆便所	S57	18	1,802	1,784	99.0
	鑑港公衆トイレ	H21	6	3,622	875	24.2
	鑑駅トイレ	建物JR保有		3,201	139	4.3
	福岡公衆トイレ	S51	10	2,800	2,800	100.0
	ハチ北公衆トイレ No.3	H2	28	6,684	5,013	75.0
	十石公衆トイレ	S47	38	2,056	2,056	100.0
	猿尾滝自然公園公衆便所	H18	30	34,923	16,169	46.3
	粗岡公衆トイレ	H10	31	24,088	24,088	100.0
小代神水便所	H5	32	22,660	16,465	72.7	
合計			337	166,270	105,132	63.2

(2) 点検・診断の実施状況

点検・診断の実施状況は以下のとおりです。

区分	点検等名称	周期	分類	対象施設名称	最終点検日	
法定点検	浄化槽法	浄化槽維持管理	1回/年	公衆便所	猿尾滝自然公園公衆便所	H29.3.17

※最終点検日は平成28年度末時点

(3) 管理運営の状況

① 管理運営方式

管理運営方式の状況は以下のとおりです。

方式区分			施設数
公設公営	直営方式	直	15施設
公設民営	指定管理者方式	委託費支払型	指-委 0施設
		利用料金型	指-料 0施設
		併用型	指-併 0施設
		費用負担無し型	指-無 0施設
		その他型	指-他 0施設
	施設貸与方式	貸	0施設

② 管理運営費

平成26年度から平成28年度の3年間の管理運営費の状況は以下のとおりです。

分類	施設名	管理運営方式	歳出(千円)			歳入(千円)			実質負担額(千円)			
			H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H28-H26 増減率
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	直	32	73	30	0	0	0	32	73	30	▲ 6.3
	三川観光公衆便所	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	安木観光公衆便所2号棟	直	274	0	0	0	0	0	274	0	0	▲ 100.0
	訓谷観光公衆便所1号棟	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	柴山駅前トイレ	直	44	52	47	0	0	0	44	52	47	6.8
	浦上観光公衆便所	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	柴山スポーツパーク公衆便所	直	44	44	144	0	0	0	44	44	144	227.3
	鎧港公衆トイレ	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	鎧駅トイレ	直	36	37	33	0	0	0	36	37	33	▲ 8.3
	福岡公衆トイレ	直	398	424	395	0	0	0	398	424	395	▲ 0.8
	ハチ北公衆トイレ No.3	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	十石公衆トイレ	直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	猿尾滝自然公園公衆便所	直	1,319	1,263	1,252	111	48	47	1,208	1,215	1,205	▲ 0.2
	祖岡公衆トイレ	直	0	86	819	0	0	0	0	86	819	皆増
小代神水便所	直	353	270	514	53	47	39	301	223	475	57.8	
合計			2,501	2,250	3,234	163	95	86	2,337	2,155	3,148	34.7

(4) 利用状況

平成26年度から平成28年度の3年間の利用状況は以下のとおりです。

分類	施設名	種別	H26	H27	H28	H28-H26 増減率
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	使用水量 (m ³)	17.7	21.9	18.2	2.8
	三川観光公衆便所	入込者数 (人)	4,000	4,000	4,000	0.0
	安木観光公衆便所2号棟		2,708	3,560	3,946	45.7
	訓谷観光公衆便所1号棟		13,350	8,540	17,080	27.9
	柴山駅前トイレ	使用水量 (m ³)	49	48	42	▲ 14.3
	浦上観光公衆便所	入込者数 (人)	3,588	2,649	2,796	▲ 22.1
	柴山スポーツパーク公衆便所	利用者数 (人)	300	300	300	0.0
	鎧港公衆トイレ	使用水量 (m ³)	35	42	39	11.4
	鎧駅トイレ		17	25	18	5.9
	福岡公衆トイレ		213	157	125	▲ 41.3
	ハチ北公衆トイレ No.3		141	132	77	▲ 45.4
	十石公衆トイレ	—	—	—	—	—
	猿尾滝自然公園公衆便所	入込者数 (人)	73,000	79,000	86,000	17.8
	粗岡公衆トイレ		17,000	18,000	20,000	17.6
	小代神水便所	使用水量 (m ³)	175	165	168	▲ 4.0

(5) 保全・更新費用の見通し

総合管理計画における今後40年間の保全・更新費用の見通しは以下のとおりです。(総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件・単価で試算しています。)

分類	区分	保全・更新費用(千円)				合計
		1～10年目 2017(H29)～ 2026(H38)	11～20年目 2027(H39)～ 2036(H48)	21～30年目 2037(H49)～ 2046(H58)	31～40年目 2047(H59)～ 2056(H68)	
公衆便所	保全	34,800	24,800	6,300	1,500	67,400
	更新	2,600	16,300	7,700	32,900	59,500
	計	37,400	41,100	14,000	34,400	126,900
合計	保全	34,800	24,800	6,300	1,500	67,400
	更新	2,600	16,300	7,700	32,900	59,500
	合計	37,400	41,100	14,000	34,400	126,900

(6) 管理運営費等の見通し

過去3年間(H26-H28)の実績値等を基に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは以下のとおりです。(修繕料については、築年数による面積あたり単価を設定し、試算しています。)

分類	管理運営費等(千円)		
	2017(H29)～2026(H38)		
	歳出	歳入	実質負担額
公衆便所	21,846	1,073	20,773
合計	21,846	1,073	20,773

3 再編に関する事項

(1) 再編の方向性の検討方法

計画期間内の再編の方向性については、総合管理計画による再編の実施方針に基づいた以下の分類ごとの考え方を基本としながら、施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分けて評価を行う施設評価を実施し、総合的に検討を行いました。

また、検討に当たっては、平成 28 年度に実施した公共施設に関する町民アンケート結果も参考にしています。

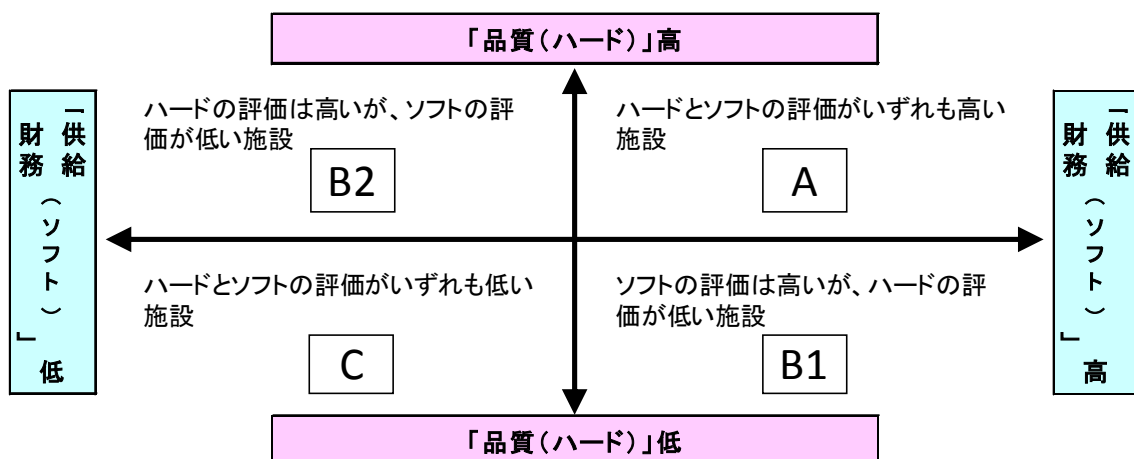
なお、今回検討した再編の方向性については、町における現時点の基本的な方向性（考え方）を示したものです。実際に再編を検討する際には、この方向性をふまえ、具体的な実施方法等について関係者等と一緒に検討・調整を行い、これまでどおり段階を踏んで進めていきます。

① 再編の考え方

分類	再編の考え方
公衆便所	・公衆便所については、国・県による設置状況も考慮し、町内での施設配置・規模・機能のあり方を明確にした上で、施設の再編について検討しますが、未利用の施設については、廃止します。

② 1次評価

1次評価は、品質（減価償却率）・供給（利用率等）・財務（面積あたり維持管理費）の観点から、下図のとおり品質（ハード）と供給（ソフト）、品質（ハード）と財務（ソフト）の2軸により「A」、「B1」、「B2」、「C」の4つに分類し、評価しました。



③ 2次評価

2次評価は、公共性、有効性、効率性、代替性、特質性の5つの区分から、それぞれ「A」、「B」、「C」の3段階で評価しました。

区分	評価	内容
公共性	A：高い B：普通 C：低い	法律等により設置が義務付けられているか
		町民の安全・安心の確保等、町民生活を営む上での必要性は高いか
		町の施策を推進する上での必要性は高いか
		設置目的の意義が低下していないか
		サービス内容が設置目的に即しているか
		利用実態が設置目的に即しているか
有効性	A：高い	利用者数等の見込みはどうか
	B：普通	利用実態からみた利用圏域はどうか
	C：低い	施設（敷地・建物）に余裕スペースがないか
効率性	A：高い	民間事業者のノウハウが活用できるか
	B：普通	
	C：低い	支出に対する利用料等の収入の割合はどうか
代替性	A：低い	利用圏域内に民間又は国県による同種のサービスを提供している施設があるか
	B：普通	他自治体との広域的な連携が可能か
	C：高い	民間施設等を活用した利用補助等に対応できるか
特質性	A：高い B：普通 C：低い	歴史的、文化的、象徴的価値のある施設か
		再編の検討にあたり、施設整備に係る国県補助金、起債の償還、施設用地の借地契約期間等による制限はあるか
		施設整備に係る管理・利用団体等からの負担はあるか
		浸水想定区域・土砂災害警戒区域等内に設置されている施設か
		避難所・投票所等に指定されているか

④ 総合評価

再編の考え方及び1次・2次評価の結果等を踏まえ、以下の区分のとおり施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分け評価を行い、計画期間内の再編の方向性を検討しました。

区分	総合評価	評価の説明
機能 (ソフト)	継続	現在の機能を継続して提供します。(他の公共施設へ機能を移転し、継続して提供する場合も含まれます。)
	新規	新たに機能を提供します。
	移譲	現在の機能を民間事業者等へ移譲します。
	廃止	現在の機能を廃止します。(他の公共施設へ機能を統合し、廃止する場合も含まれます。)
建物等 (ハード)	維持	現在の建物等を維持します。(複数棟ある施設について、一部の建物等を解体撤去する場合も含まれます。)
	大規模改修	長寿命化等のため、建物等を全面的に改修します。
	更新	老朽化等のため、建物等を更新します。(他の場所へ建物等を移転し、更新する場合も含まれます。)
	新築	新たな機能の提供に伴い、建物等を新築します。
	既設	新たな機能の提供に伴い、既存の建物等を利用します。
	譲渡	現在の建物等を民間事業者等へ譲渡します。
	解体撤去	現在の建物等を解体撤去します。

⑤ 評価結果

分類	施設名	1次評価		2次評価					総合評価		延床面積 (㎡)
		品質 供給	品質 財務	公共	有効	効率	代替	特質	機能	建物等	
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	—	B 1	B	A	B	A	C	廃止	解体撤去	0
	三川観光公衆便所	—	A	A	A	B	A	B	継続	維持	15
	安木観光公衆便所2号棟	—	B 1	A	A	B	A	B	継続	維持	30
	訓谷観光公衆便所1号棟	—	B 1	A	A	B	A	B	継続	維持	47
	柴山駅前トイレ	—	A	A	A	B	A	B	継続	維持	11
	浦上観光公衆便所	—	A	A	A	B	A	B	継続	維持	33
	柴山スポーツパーク公衆便所	—	C	B	C	B	A	B	継続	維持	18
	鎧港公衆トイレ	—	A	B	A	B	A	B	継続	維持	6
	鎧駅トイレ	—	A	A	A	B	A	C	継続	維持	0
	福岡公衆トイレ	—	C	B	A	B	B	C	継続	維持	10
	ハチ北公衆トイレ No.3	—	B 1	B	A	B	B	C	継続	維持	28
	十石公衆トイレ	—	B 1	C	C	B	B	B	廃止	解体撤去	0
	猿尾滝自然公園公衆便所	—	A	B	A	B	B	B	継続	維持	30
	粗岡公衆トイレ	—	B 1	B	A	C	B	B	移譲	譲渡	0
	小代神水便所	—	C	B	A	B	B	C	継続	維持	32
合計											260

(2) 再編スケジュール

総合評価において、再編を実施することとした施設における再編スケジュールを、前期5年と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。(総合管理計画との比較を行うため、2016年度(平成28年度)中の再編についても記載しています。)

分類	施設名	区分	2016 (H28)	前期 2017(H29)～2021(H33)	後期 2022(H34)～2026(H38)
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	機能		廃止	
		建物等		解体撤去	
	十石公衆トイレ	機能		廃止	
		建物等		解体撤去	
	租岡公衆トイレ	機能			移譲
		建物等			譲渡

【実施方針】

分類	施設名	実施方針
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	施設の老朽化及び利用実態を踏まえ、施設を廃止・解体撤去することとします。
	十石公衆トイレ	施設の老朽化及び利用実態を踏まえ、施設を廃止・解体撤去することとします。
	租岡公衆トイレ	「租大池公園」と一体的な施設との考えのもと、「租大池公園」の指定管理者を第一候補者として、施設を譲渡することとします。

4 保全・更新等に関する事項

(1) 保全・更新等の検討方法

計画期間内の保全・更新等については、総合管理計画による維持管理・修繕・更新等、安全確保、耐震化、長寿命化の実施方針及び「3再編に関する事項」の「(2)再編スケジュール」に基づき、以下の方法で検討を行いました。

なお、今回検討した保全・更新等については、以下の方法に基づいて検討した目安となる実施時期及び費用を示したものです。

① 保全・更新等の区分

以下のとおり保全、更新、その他の3つに区分しました。

区分	内容
保全	建築（屋根・外壁等）、電気設備（受変電設備等）、機械設備（空調設備等）、昇降機設備等の代表的な部位に係る予防修繕・改修 ※部位別に修繕・改修周期を設定 ※構造別に使用目標年数を設定 ※事後修繕については、「5 管理運営に関する事項」で検討
更新	建物等全体の更新
その他	新築、解体撤去、耐震化、バリアフリー化、省エネルギー設備の導入等

② 保全・更新等に係る費用の算出方法

保全・更新等に係る具体的な費用を算出していない施設については、以下の方法で費用を算出しました。

区分	算出方法
保全	固定資産台帳による取得価額又は再調達価額を基に、施設の用途別に部位ごとの構成比率等を設定し、予防修繕・改修に係る費用を算出
更新	固定資産台帳による取得価額又は再調達価額を基に、更新時の解体費用等も考慮し、更新費用を算出
その他	他の公共施設での実績等を基に費用を算出

③ 保全・更新等の優先順位

防災面で拠点的役割を果たす施設や不特定多数の利用者がある施設を優先するとともに、修繕・改修履歴及び点検結果等による施設の劣化状況に応じて、保全・更新等の優先順位を検討しました。

(2) 保全・更新等スケジュール

保全・更新等の優先順位を考慮しながら、施設の長寿命化・財政負担の平準化を行うため、保全・更新等スケジュールを前期5年間と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。(総合管理計画との比較を行うため、2016年度(平成28年度)中の保全・更新等についても記載しています。)

分類	施設名	区分等		使用 目標 年数 (年)	保全・更新等費用(千円)			
					2016 (H28)	前期 2017(H29) ~2021(H33)	後期 2022(H34) ~2026(H38)	合計
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	その他	解体撤去	—	0	400	0	400
	訓谷観光公衆便所1号棟	保全	屋根・外壁・給排水衛生等	50	0	0	7,600	7,600
	十石公衆トイレ	その他	解体撤去	—	0	1,900	0	1,900
合計		保全			0	0	7,600	7,600
		更新			0	0	0	0
		その他			0	2,300	0	2,300
		計			0	2,300	7,600	9,900

5 管理運営に関する事項

(1) 管理運営の見直しの検討方法

計画期間内の管理運営については、総合管理計画による効率的な管理運営の実施方針、「3 再編に関する事項」の「(2) 再編スケジュール」及び「4 保全・更新等に関する事項」の「(2) 保全・更新等スケジュール」に基づき、以下の項目について検討を行いました。

なお、今回検討した管理運営費等については、以下の方法に基づいて算出した目安となる費用等を示したものです。

また、今回具体的な検討結果を示すことができなかった指定管理者制度のあり方や利用者負担のあり方の検証については、引き続き検討を行うこととします。

区分		主な見直し内容及び算出方法
歳出	全般	再編スケジュールに基づく見直し 移譲・廃止・譲渡・解体撤去と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳出を0円として算出 新規・新築と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳出を見込みにより算出
	光熱水費	電力入札による電気料金の見直し 一定規模以上の施設に対し電力入札を実施することとし、過去3年間(H26-H28)の平均値に一定割合を減じて算出
	維持管理費	再編スケジュールに基づく見直し 大規模改修・更新と評価した施設については、再編実施年度の翌年度を築1年目として修繕料を算出(修繕料は、築年数による面積あたり単価を設定し算出)
歳入	全般	再編スケジュールに基づく見直し 移譲・廃止・譲渡・解体撤去と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳入を0円として算出 新規・新築と評価した施設については、再編実施年度の翌年度以降の歳入を見込みにより算出

(2) 管理運営の見直しスケジュール

管理運営の見直しの検討内容を基に、管理運営の見直しスケジュールを前期5年間と後期5年間に分けて以下のとおり検討しました。

分類	施設名	見直し内容	管理運営費等 (千円)								
			前期 2017(H29)～2021(H33)			後期 2022(H34)～2026(H38)			合計		
			歳出	歳入	実質負担額	歳出	歳入	実質負担額	歳出	歳入	実質負担額
公衆便所	岡見公園公衆トイレ	廃止/解体撤去	181	0	181	0	0	0	181	0	181
	三川観光公衆便所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安木観光公衆便所2号棟		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訓谷観光公衆便所1号棟		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柴山駅前トイレ		257	0	257	270	0	270	527	0	527
	浦上観光公衆便所		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	柴山スポーツパーク公衆便所		339	0	339	339	0	339	678	0	678
	鎧港公衆トイレ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鎧駅トイレ		178	0	178	178	0	178	356	0	356
	福岡公衆トイレ		1,927	0	1,927	1,927	0	1,927	3,854	0	3,854
	ハチ北公衆トイレ No.3		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	十石公衆トイレ	廃止/解体撤去	88	0	88	0	0	0	88	0	88
	猿尾滝自然公園公衆便所		6,319	343	5,975	6,290	343	5,947	12,609	686	11,922
	祖岡公衆トイレ	移譲/譲渡	112	0	112	127	0	127	239	0	239
小代神水便所		1,465	193	1,272	1,460	193	1,267	2,925	386	2,539	
合計			10,866	536	10,329	10,591	536	10,055	21,457	1,072	20,384

6 公共施設等マネジメントによる効果

(1) 保有量

計画前 (延床面積) (2015(H27)末)	計画後 (延床面積) (2026(H38)末)	効果 (延床面積)
337 m ²	260 m ²	▲77 m ² (▲22.8%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡、解体撤去による減 (▲77 m²) 		

(2) 保全・更新等費用

計画前 (2017(H29)～2026(H38))	計画後 (2016(H28)～2026(H38))	効果
37,400 千円	9,900 千円	▲27,500 千円 (▲73.5%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・平準化、解体撤去による保全費用の減 (▲27,200 千円) ・解体撤去による更新費用の減 (▲2,600 千円) ・解体撤去によるその他費用の増 (2,300 千円) 		

(3) 管理運営費等

計画前 (実質負担額) (2017(H29)～2026(H38))	計画後 (実質負担額) (2017(H29)～2026(H38))	効果
20,773 千円	20,384 千円	▲389 千円 (▲1.9%)
主な要因		
<ul style="list-style-type: none"> ・再編 (廃止/解体撤去) による減 (▲389 千円) 		

7 フォローアップの実施方針

(1) フォローアップの実施方針

本計画を着実に推進していくためには、以下のP D C Aサイクルに基づき、継続的に計画の評価・見直しを行いながら推進していきます。

